

令和6年度 評価項目一覧

Q:国指定の項目 QM:武蔵野市独自項目

大項目	活動目標	設問
1 地域包括ケアシステムの構築・推進	(1)活動目標1: 市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する	Q12 人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか
		Q13 介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか
		Q14 センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか
		Q15 相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか
2 組織・運営体制	(1)活動目標2: 市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る	Q16 市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか
		Q17 当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか
		Q18 市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか
		Q19 センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか
	(2)活動目標3: センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う	Q20 センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか
		Q21 センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか
		Q22 センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行っているか
		Q23 特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行っているか

大項目	活動目標	設問
2 組織・運営体制	(3)活動目標4: センター職員の人材確保および育成を図る	Q25 センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか
		Q26 センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか
		Q27 センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修(Off-JT)に参加できるようにしているか
		Q28 センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか
	(4)活動目標5: 市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整えて実践する	Q30 個人情報に関する市町村の取組方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか
		Q31 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか
		Q32 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処及び市町村への報告(共有)の体制を構築しているか
		Q33 センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか
Q34 【市町村により選択】 センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか		
3 総合相談支援事業	(1)活動目標7: 地域包括支援ネットワークを構築する	Q36 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか
		Q37 気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか
		Q38 相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか
		Q39 【市町村により選択】 高齢者福祉分野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか

大項目	活動目標		設問
3 総合相談支援事業	(2)活動目標8: 市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす	Q40	相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか
		Q41	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか
		Q42	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか
		Q43	相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか
		QM1	サービス未利用者実態調査は完了しましたか。
	(3)活動目標9: 家族介護者支援に取り組む	Q44	夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口(連絡先)を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか
		Q45	支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか
		Q46	家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか
		Q47	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか
		QM2	家族介護教室の開催回数は計画どおりでしたか。
	(4)活動目標10: 複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	Q49	相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか
		Q50	ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか
		Q51	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか
		Q52	相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか
		QM3	相談事例解決のために他機関と連携して取り組んだ件数は昨年度実績を超えていますか。

大項目	活動目標	設問
4 権利擁護事業		Q59 消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか
		Q60 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか
		Q61 高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか
		Q62 センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか
		Q63 【市町村により選択】センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか
		QM4 全ての虐待事案について、通報から事実確認まで48時間以内に対応していますか。
5 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	(1)活動目標17: 担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う	Q66 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等)を把握しているか
		Q67 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか
		Q68 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか
		Q69 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか
		Q70 介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか
		QM5 サービス担当者会議への同席回数は何回ですか。
		QM6 同行訪問の回数は何回ですか。
		QM7 ケアマネジャー支援の回数は何回ですか。

大項目	活動目標		設問
6 地域 ケア 会議	(1)活動目標20: センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる	Q77	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか
		Q78	センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか
		Q79	市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱い方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか
		Q80	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか
		Q81	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか
	(2)活動目標21: 地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する	Q84	センター主催の地域ケア会議(地域ケア個別会議)において、地域課題の可能性のある課題を抽出しているか
		Q85	センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか
		Q86	センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか
		Q87	地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議(地域ケア推進会議)等に参加または資料提出しているか
		QM8	各地域ケア会議の開催回数は目標を達成しましたか。【重点】

大項目	活動目標		設問	
8 包括支援事業（社会保障充実分）	8-1. 在宅医療・介護連携 ※8-1～3は市で独自に項目分けをしたもの。国の項目としては「(1)活動目標25:事業間連携を推進する」	Q97	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか	
		Q100	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	
	8-2. 認知症高齢者支援	Q99	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	
		QM9	認知症サポーター養成講座の開催数は何回ですか。	
		QM10	「みんなで知ろう認知症」を講座や研修などにおいて配布、活用しましたか。	
		QM11	「認知症対応の7つのポイント(A4版チラシ)」の配布は行いましたか。	
		QM12	認知症初期集中支援事業支援件数は目標数を達成しましたか。【重点】	
	8-3. 生活支援体制整備	Q98	生活支援コーディネーター・協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか	
		QM13	いきいきサロンの新規開設目標数を達成しましたか。【重点】	
		QM14	生活支援コーディネーターによる実態把握回数は昨年度実績を超えていますか。	
		QM15	生活支援コーディネーターによる地域資源立ち上げ回数は昨年度実績を超えていますか。	
		QM16	生活支援コーディネーターによる地域資源運営支援回数は昨年度実績を超えていますか。	
		QM17	第2層の協議体への参加回数は昨年度実績を超えていますか。	
	10 市単独事業		QM18	高齢者等緊急訪問介護事業(レスキューヘルパー)の利用実績はありましたか。
			QM19	高齢者食事サービスと認知症高齢者見守り支援事業の利用者モニタリングは完了していますか。
QM20			福祉用具の相談実績はありますか。	
QM21			住宅改修・住宅改善の相談実績はありますか。	
QM22			エンディング支援事業の出前講座を開催しましたか。	